

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

2030年ビジョン

幸せと豊かさを最大化するLife & Time Developerへ。個々のお客様を起点にグループ全体で連携し、お客様の「幸せ」と社会の「豊かさ」を追求

ROA
5%以上

ROE
10%以上

事業利益成長率
8%水準

事業利益
1,600億円

② 中長期の経営戦略

1. お客様ニーズへの対応

価値観の多様化、所有から利用・体験価値重視への変化に対応。インバウンド・富裕層・単身世帯増加に対応した事業展開

3. 海外事業の拡大

海外各国の経済成長や人口増加に伴うニーズ対応。海外部門の事業利益を66億円から110億円へ拡大

2. サステナビリティ対応

機関投資家・個人富裕層の不動産投資ニーズに応じた事業展開。サステナビリティ・ウェルネスへの意識高まりに対応

4. 事業利益の成長

2025年3月期の1,251億円から2028年3月期に1,600億円への拡大を目指す。全部門での利益増加を計画

③ 対処すべき課題

① マクロ環境への対応

- ・ 少子高齢化、労働人口減少への対策が必要
- ・ 地政学リスク増大・気候変動・災害激甚化への備え
- ・ 建築費上昇・工期長期化への対応

② 事業環境の変化対応

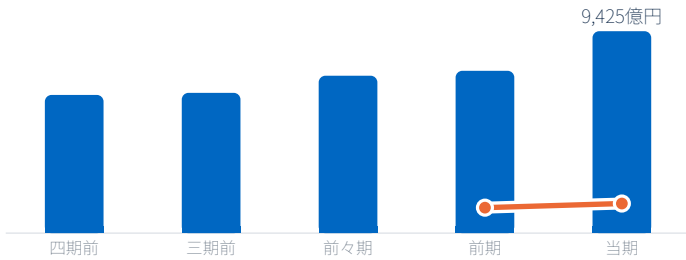
- ・ 国内外の経済・金融環境変化への適応
- ・ 人材獲得競争激化への人事戦略強化

面接で使えるポイント

- ・ 2030年ビジョンで掲げる『幸せと豊かさの最大化』を実現するため、お客様起点のグループ連携施策に関心がある
- ・ 海外部門の事業利益を66億円から110億円へ拡大する成長戦略への参画に興味がある
- ・ 少子高齢化・気候変動など社会課題に対応した不動産ビジネスの革新に貢献したい

証券コード 3231

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
9,425億円営業利益率
14.7%財務健康度
48点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,248万円

不動産業内 9位/130社

平均年齢
41.9歳

不動産業内 42位/131社

平均勤続
13.5年

不動産業内 13位/131社

女性管理職
13.7%

不動産業内 30位/76社

男性育休
97.0%

不動産業内 21位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 大同生命、野村不動産ホールディングス株式会社に対する「大同生

